



## 平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月14日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゼットン

コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲本健一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 森 充

TEL 03-6416-3120

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	5,037	11.0	251	—	236	—	142	—
22年2月期第3四半期	4,536	—	△93	—	△106	—	△102	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	3,666.89	3,592.36
22年2月期第3四半期	△2,650.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	3,100	531	17.1	13,716.16
22年2月期	2,904	413	14.2	10,677.84

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 531百万円 22年2月期 413百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	5.0	170	—	150	—	80	—	2,065.74

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料の4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無  
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期3Q 38,727株 22年2月期 38,727株  
② 期末自己株式数 23年2月期3Q ー株 22年2月期 ー株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期3Q 38,727株 22年2月期3Q 38,727株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年3月1日～平成22年11月30日）におけるわが国経済は、新興国向け輸出の回復や政府の経済対策の効果等により、緩やかではありますが景気回復基調となりました。しかしながら、国内消費におきましては、円高基調による懸念、雇用情勢も依然として厳しく、先行き不透明感の拭えない状況で推移しました。

外食業界におきましても、節約志向、低価格志向等を背景に、消費者の外食に対する支出傾向は、依然として厳しい状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループは、「横浜マリニタワー」をはじめ、ハワイアンブランド「ALOHA TABLE」、その他既存店舗のサービスや料理クオリティの更なる向上、全社的なコスト低減に注力して参りました。

また、当社グループは、ハワイアンブランド「ALOHA TABLE」のフランチャイズ店舗の出店による多店舗展開にも取り組んでおり、当第3四半期連結会計期間末にて、2店舗の出店をしております。

全店舗数におきましては、当第3四半期連結会計期間末（平成22年11月30日現在）にて、直営店46店舗（国内44店舗、海外2店舗）、FC店2店舗の計48店舗となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,037百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は251百万円（前年同期は営業損失93百万円）、経常利益は236百万円（同経常損失106百万円）、四半期純利益は142百万円（同四半期純損失102百万円）となりました。

事業の戦略事業別の業績は次のとおりであります。

#### ① 公共施設開発事業

「ガーデンレストランド徳川園」、「GARLANDS」、「THE TOWER RESTAURANT NAGOYA」等の大型店舗、平成21年5月に開業いたしました「横浜マリニタワー」、また、平成22年6月に大阪府大阪市北区の中之島公園内に開業いたしました「R Riversaide Grill & BEER GARDEN」を中心として好調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は2,469百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

#### ② 商業店舗開発事業

平成22年3月に神奈川県横浜市中区のColette Mareみなとみらい1Fに「MANOA ALOHA TABLE」を、平成22年5月に東京都港区南青山にオープンしたFrancfranc 1Fに「PACIFIC COAST HOUSE」、「Good Days Malasada」、「AOSTA」を、平成22年6月に東京都中央区銀座に「gindachi」を、平成22年9月に東京都武蔵野市吉祥寺のアトレ吉祥寺内に「Aloha Table HAWAIIAN DELI」を新規出店するとともに、平成22年6月に「M&L Aloha Table Hawaiian Eata」（旧 ZETTON ebisu）、平成22年7月に「LUAU Aloha Table with Gala Banquet」（旧 zetton ODEON）をリニューアルオープンいたしました。

また、夏季限定店舗が当初予想を上回って推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は2,565百万円（同13.8%増）となりました。

#### ③ プランニング&コンサルティング事業

グラフィックデザインの制作、コンサルティング等により、当事業における売上高は2百万円（同75.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産におきましては、前連結会計年度末に比べ195百万円増加し、3,100百万円となりました。これは主に、現金及び預金が177百万円増加したこと、売掛金が23百万円増加したこと等によるものであります。

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、2,569百万円となりました。これは主に、長期借入金が116百万円減少するものの、未払法人税等が86百万円増加、買掛金が61百万円増加、前受金が39百万円増加したこと等によるものであります。

純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し、531百万円となりました。これは主に利益剰余金が124百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、長期借入金の返済による支出、有形固定資産の取得による支出等の資金減少要因を、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、長期借入れによる収入、その他流動負債の増減額等の資金増加要因が上回った為、前連結会計年度末に比べ、177百万円増加の650百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、542百万円（前年同期は176百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益252百万円、減価償却費185百万円、その他流動負債の増減額101百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、164百万円（同706百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出194百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、189百万円（同766百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出289百万円、長期借入れによる収入175百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績におきましては、平成22年10月1日に公表いたしました予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出しております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要  
該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	658,560	480,905
売掛金	123,076	99,124
商品	1,215	1,161
原材料及び貯蔵品	67,057	63,205
前払費用	45,930	35,832
繰延税金資産	15,473	34,218
その他	26,110	9,872
貸倒引当金	△1,458	△1,402
流動資産合計	935,965	722,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,434,320	1,424,198
工具、器具及び備品（純額）	162,340	165,073
リース資産（純額）	118,082	88,532
建設仮勘定	—	37,268
その他（純額）	308	426
有形固定資産合計	※1 1,715,050	※1 1,715,499
無形固定資産	31,371	39,900
投資その他の資産		
投資有価証券	3,100	3,100
出資金	1,010	1,010
長期前払費用	4,552	5,112
差入保証金	294,758	302,192
繰延税金資産	114,230	114,306
その他	241	685
投資その他の資産合計	417,894	426,406
固定資産合計	2,164,316	2,181,806
資産合計	3,100,282	2,904,724

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	354,994	293,856
短期借入金	—	60,000
1年内返済予定の長期借入金	355,232	352,923
リース債務	32,054	21,498
未払金	163,837	144,604
未払費用	176,911	166,718
未払法人税等	94,789	8,162
未払消費税等	48,477	23,831
前受金	102,069	62,963
その他	20,987	39,866
流動負債合計	1,349,353	1,174,423
固定負債		
長期借入金	1,118,745	1,235,664
リース債務	95,179	72,314
その他	5,818	8,802
固定負債合計	1,219,743	1,316,780
負債合計	2,569,096	2,491,204
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	330,890	330,890
資本剰余金	253,093	253,093
利益剰余金	△1,721	△126,398
株主資本合計	582,261	457,585
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△51,076	△44,065
評価・換算差額等合計	△51,076	△44,065
純資産合計	531,185	413,520
負債純資産合計	3,100,282	2,904,724

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	4,536,401	5,037,051
売上原価	1,345,620	1,502,160
売上総利益	3,190,780	3,534,890
販売費及び一般管理費	※1 3,284,083	※1 3,283,278
営業利益又は営業損失(△)	△93,302	251,612
営業外収益		
受取利息	986	557
協賛金収入	18,247	11,514
その他	4,311	3,297
営業外収益合計	23,544	15,369
営業外費用		
支払利息	23,902	24,635
為替差損	11,213	3,109
その他	1,352	2,661
営業外費用合計	36,469	30,407
経常利益又は経常損失(△)	△106,226	236,574
特別利益		
固定資産売却益	4,342	15,018
貸倒引当金戻入額	—	1,534
特別利益合計	4,342	16,552
特別損失		
固定資産除却損	493	193
保険解約損	1,288	—
特別損失合計	1,782	193
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△103,667	252,933
法人税、住民税及び事業税	4,168	92,105
法人税等調整額	△5,189	18,820
法人税等合計	△1,021	110,926
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,646	142,007

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)
売上高	1,528,489	1,643,362
売上原価	462,136	489,393
売上総利益	1,066,353	1,153,969
販売費及び一般管理費	※1 1,047,657	※1 1,061,650
営業利益	18,695	92,318
営業外収益		
受取利息	36	65
協賛金収入	3,589	5,670
為替差益	—	4,238
その他	496	1,233
営業外収益合計	4,122	11,207
営業外費用		
支払利息	7,996	3,051
為替差損	7,127	—
その他	458	185
営業外費用合計	15,582	3,237
経常利益	7,235	100,289
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	536
特別利益合計	—	536
特別損失		
保険解約損	1,288	—
特別損失合計	1,288	—
税金等調整前四半期純利益	5,946	100,825
法人税、住民税及び事業税	1,164	39,918
法人税等調整額	14,732	△1,036
法人税等合計	15,897	38,881
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,950	61,943

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△103,667	252,933
減価償却費	191,507	185,208
のれん償却額	2,743	2,607
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,143	55
受取利息及び受取配当金	△986	△557
支払利息	23,902	24,635
為替差損益(△は益)	11,213	3,109
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,342	△15,018
固定資産除却損	493	193
保険解約損益(△は益)	1,288	—
売上債権の増減額(△は増加)	△19,403	△23,952
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,227	△3,905
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△17,022	△27,170
仕入債務の増減額(△は減少)	98,400	61,138
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,375	23,595
その他の流動負債の増減額(△は減少)	72,561	101,187
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△614	2,529
その他	26,890	△8,058
小計	253,506	578,532
利息及び配当金の受取額	958	554
利息の支払額	△23,745	△24,385
法人税等の支払額	△53,934	△12,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	176,786	542,086
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△779,708	△194,640
有形固定資産の売却による収入	81,835	22,050
無形固定資産の取得による支出	△981	△500
出資金の払込による支出	△1,000	—
貸付けによる支出	△1,300	△660
貸付金の回収による収入	1,260	1,613
差入保証金の差入による支出	△24,361	△22,725
差入保証金の回収による収入	6,911	27,742
保険積立金の解約による収入	11,828	—
その他	△746	2,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△706,262	△164,567
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25,000	△60,000
長期借入れによる収入	1,060,000	175,000
長期借入金の返済による支出	△257,052	△289,610
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△11,514	△15,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	766,433	△189,742
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,403	△10,107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	245,360	177,669
現金及び現金同等物の期首残高	281,138	472,780
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 526,499	※1 650,449

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。